

# WHO ファクトシート

## ブルーリ潰瘍

(マイコバクテリウム・ウルセランス感染症)

Buruli ulcer

(Mycobacterium ulcerans infection)

2017年2月

### 重要な事実

- ・ブルーリ潰瘍は、慢性の全身衰弱をもたらす疾病で、マコバクテリウム・ウルセランス菌によって引き起こされる。
- ・しばしば皮膚や時として骨に影響を与え、恒久的な外観損傷や長期間の障害につながることもある。
- ・アフリカ、南アメリカ及び西太平洋地域の熱帯、亜熱帯及び温帯気候の少なくとも33カ国でブルーリ潰瘍の症例報告がある。
- ・2015年には、13カ国から2037件の新症例が報告されている。
- ・ほとんどの患者は、15歳未満の子どもである。
- ・この疾病には予防方法がない。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Buruli ulcer            ファクトシート原文は [こちら](#)